資料5:四万十町の現状[通学アンケート調査より]速報版

■ 通学アンケート調査の実施概要

(1)調査の実施方法

学校から生徒にアンケート調査票と依頼文書を専用封筒に入れて配布してもらい、一定期間(約2週間)経過後に学校に提出してもらったアンケート調査票を回収した。

(2) 実施スケジュール

9月9日	役場を通じて各学校にアンケート調査票一式を配布
9月24日	保護者が生徒を通じて学校に提出

(3) 対象者

町内の中学校及び高等学校に通学する生徒の保護者を対象とし、調査票への記入時には生徒と話し合いながら書いてもらうように依頼した。

(4) 回収数と回収率

学校	配布数	回収数	回収率
窪川中学校	255 票	155 票	60.8%
興津中学校	4 票	3 票	75.0%
北ノ川中学校	16 票	15 票	93.8%
大正中学校	37 票	22 票	59.5%
十川中学校	39 票	32 票	82.1%
中学校集計	351 票	227 票	64.7%
窪川高等学校	77 票	67 票	87.0%
四万十高等学校	58 票	47 票	81.0%
高等学校集計	135 票	114 票	84.4%

以降、学校別にアンケート調査結果速報版をとりまとめる。

通学と将来のまちづくりに関するアンケート [窪川中学校]

1. アンケートの配布と回収

学年	配布数	回収数	備考
1 学年	98	63	
2 学年	69	38	
3 学年	88	52	
無回答	0	2	
	255	155	回収率: 60.8%

2. 回答者の居住地区 [回答者数の多い順及び地区名を五十音順]

七里	15	影野	2	中神ノ川	1
興津	8	口神ノ川	2	奈路	1
香月が丘	8	窪川	2	西川角	1
北琴平町	8	希ノ川	2	東大奈路	1
金上野	7	八千数	2	東又	1
琴平町	7	藤ノ川	2	東町	1
六反地	5	古市町	2	平野	1
米奥	5	南川口	2	弘見	1
仁井田	4	宮内	2	本堂	1
野地	4	与津地	2	若井川	1
平串	4	榊山町	2	中土佐町久礼	1
見付	4	家地川	1	黒潮町拳ノ川	1
秋丸	3	魚ノ川	1	無回答	13
黒石	3	奥呉地	1		
茂串町	3	折合	1		
床鍋	3	神ノ西	1		
東川角	4	下呉地	1		
桧生原	3	新開町	1		
大井野	2	高野	1		

3. 通学の手段

(1) 登校 [複数回答可]

晴れた日

0 20 40 60 80 100 120 140 **3**1 徒歩 46 自転車 **5**3 スクールバス 鉄道(JR土讃線) 鉄道(JR予土線) 鉄道(土佐くろしお鉄道) バス 💶 19 **5**7 保護者等による送迎 その他 0 無回答 0 0 20 40 60 80 100 120 140

徒歩 自転車 スクールバス 鉄道 (JR土讃線) 鉄道 (JR予土線) 鉄道 (土佐くろしお鉄道) バス 保護者等による送迎 その他 無回答

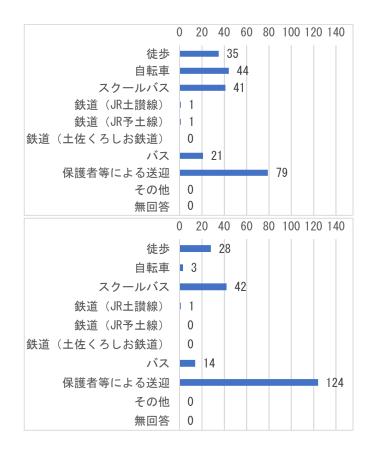
<u>荒天時</u>

(2) 下校 [複数回答可]

晴れた日

<u> 時 10 /こ 口</u>

荒天時



4. 通学に公共交通(鉄道、バス)を利用していない理由 (通学に公共交通を使っていないと記入した人のみ回答可)

図:通学に公共交通を利用していない理由 [複数回答可]



その他※重複の内容は省く

- ・自宅が近い
- ・口神ノ川地区はスクールバスを利用出来ない。
- ・親が送迎できる。
- ・自転車が乗れない為歩くと40分ぐらいかかるので、車で送迎している。
- ・自宅付近でスクールバス、公共交通 (バス) の停留所がその時間ない。

5. 通学途中に危険を感じたこと、もしくは潜在的な危険箇所

『危険を感じたことがある、潜在的に危険な場所がある』と回答:38

表:通学中などに危険と感じた事象

居住地	危険と感じた事象
東町	校門近くで、自転車からこけてしまった(1回)。
琴平町	市川文光堂の建物。
北琴平町	窪川高校から下りて来る道と二車線と脇道が交わる所。香月ヶ
	丘住宅から二車線へ交わる所。カーブミラーがなく危険。
香月が丘	中学校の入り口、横断歩道。
神ノ西	自分の子供ではないが、大井野の橋から神ノ西を抜けて通学し
	ている子供が、スタンド前を自転車に乗って大回りで曲がって
	くるため怖い。神ノ西は、車も子供も多く利用しているので特
	に危険だと感じる。
宮内	仕出原地区から中学校までの坂道が怖いと感じる。
宮内	学校から北へ走る道が暗くて狭い。宮内地区は街灯が少なく、
	帰宅時には真っ暗くなる。
大井野	大井野の直線は歩道がなく危険。部活の帰り道が暗い。
中神ノ川	歩道がなく、車道の幅が狭く、車と接触しそうになる。下校時、
	暗く街灯が少ないので、水路に落ちそうで危険を感じる。
野地	携帯電話を使用しているのか、車が歩行者の線を走っているの
	を見た。その数分前に我が子がそこを歩いており、ぞっとした。
秋丸	バス停前の国道が危険。
秋丸	バス停前の国道がスピードを出して通行する車が多く、歩道も
	無いため危険。
家地川	近所に高齢者ドライバーが居り、バス停まで歩いていると、声
	を掛けてくれるが、挨拶するその時に車を寄せてくるので足を
	しかれそうになることが度々ある。
金上野	リュウビ(文具店)前の交差点。
黒潮町	窪川中学校の3つ手前の横断歩道での小学生の飛び出し。
拳ノ川	
見 付	時間帯的にも交通量が多いので、全てのところで危険は 0 には
	ならない。一番子供達にとって安全な方法をいろいろな方向か
	ら検討したらいいと思う。

居住地	危険と感じた事象
—————— 見 付	歩道がボコボコすぎて、車道を自転車で通っているようである
	が、車道もボコボコで危険だと思う。
藤ノ川	藤ノ川バス停が道路すぐ脇にあるため、バス待ち時に車との距
	離が保てない。雨の日は車のはね水でズブぬれになってしまう。
黒石	自宅から学校まで、自転車で行ったことがあるが、途中でチェ
	ーンが外れたり、車と接触したりしたことがある。徒歩で帰っ
	てきた事もあるが、2時間ぐらいかかり熱中症とか心配である。
奈 路	街灯が少ない。
与津地	バスに乗って座席につく前にバスが発車する。停車する前に、
	入口ドアが開いたりする。自転車で通学するとき、平串の踏切
	の所は、木などが邪魔していて見通しが悪い。
興津	夏休み中、駅でバスを待っているとき知らない人に「100 円あ
	げる」と声をかけられ、断ってもその場に 100 円おき、建物の
	影からずっと見られていた。家族が電話を受け迎えに行った。
平串	通学路が暗いため、冬場は心配。
仁井田	危険というほどではないが、動物の死体がある時は、夜の自転
	車ではびっくりするそうである。
六反地	仁井田を過ぎて自宅(六反地国道沿い)までの道では、外灯が
	少なく、自転車のライトだけでは道が見えないと車道のまん中
	を通って帰ってきたことがあった。また、真っ暗な中、歩道の
	真ん中に老人が座っていて、気がつかずぶつかりそうになった
古川 岳	そうである。 根々崎〜窪中までの間、一車線しかなく、ところどころにしか
東川角	街灯は無く、暗くなってから帰ってくるので心配。
東川角	自転車で通学中、前方からの運転手が携帯を操作していて気づ
*///	かず、子供が横転。接触はしていなかったが、車の運転手はそ
	のまま走行。子供も擦り傷程度ではあったが、ナンバーなども
	覚えていなかった。学校には一応連絡済み。
西川角	通学途中の路上にて、後ろから来た乗用車が減速をせずに横を
	通り過ぎる時に危険を感じる。
七里	暗くなった帰り道、自転車に2列で走られたら、自動車側も危
	ない。
七里	自転車で登校する時に、宮内地区を通っている時があり、端を
	通っていたところ、前日の雨で滑ってこけた。(遅刻した。)外
	灯が無く。部活帰りは自転車のライトだけでは暗いので心配で
	ある。
七里	荷物が多い。

居住地	危険と感じた事象
米奥	朝の辷道交差点では、交通量も多く、車優先になっている為、
	学生はかなり危ない思いをしているそうである。
米奥	夜、自転車が壊れ、通行車両や家も少ない通りを携帯も持って
	なく、公衆電話もない暗闇を帰って来た事がある。
無回答	危険ではないが、バス停で待っているのにバスが停まってくれ
	ない時がある。たまたま仕事に行ってない日で、車で送る事が
	出来たが、もし仕事へ先に行っていた場合はどうなっていたか
	と心配である。
無回答	基本自転車通学だが、国道を通る際、歩道が全てについておら
	ず、また左右どちらかしかないなど、車のすぐ際を通らざるを
	得ないので危ないと感じる。カーブも多く、自転車から車が見
	えにくい所もある。歩道を通っていたら危なくないが、歩道を
	通る為に車道を渡る必要がある。

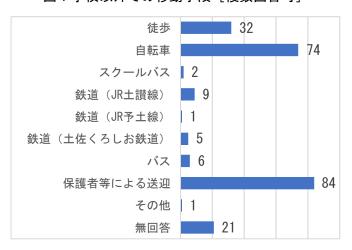
6. 学校以外での外出について

(1) 行き先

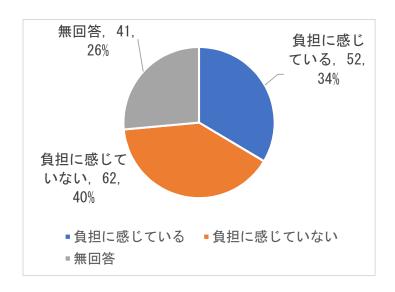
町内の友人宅、窪川街分地区にある友人の家、町内の学習塾、近隣自治体の友人宅、親戚の家、ダンススクール、ピアノ教室、量販店、コンビニエンスストア、他

(2) 移動手段

図:学校以外での移動手段[複数回答可]



7. 子どもの通学について負担に感じていること



【負担に感じている内容】※主なものを抽出

- ・部活動の為、送迎が必要な時がある(帰りは毎日)。
- ・部活動があった時の送迎。
- ・部活をしているとスクールバスに乗れない。
- ・雨の日の送迎
- ・下校の時間はまだ勤務中の為、荒天時になかなか迎えにいけない。
- ・金上野グランドまでの送迎(仕事中は、送迎がむずかしい)
- ・水曜日の下校後、バスの時間まで時間がありすぎてお迎えを要求される。
- ・急な下校のお迎え
- ・スクールバスのルートと時間が現状に合っていない。
- ・台風など日中途中に休校になった場合。昼頃に休校になっても迎えには行けないし、徒歩で帰宅させるには危険。
- ・平日は部活動があるため、迎えは当然なこと。バスで帰ってきてくれる時はとてもありがたく感じる。
- ・待つ時間
- ・以前より興津峠の路線バスが天候状況により運行しないことが多い。バス 路線が運行しない場合、特に朝は情報が入るのが遅い場合があるので改善 してほしい。
- ・朝のスクールバスが時間通りにこない(早い)。
- ・雨で保護者が送迎できない時に祖父母にお願いしているが、高齢なので心 配あり。

【負担軽減につなげるアイデア】※主なものを抽出

- ・バスが途中で乗れたらいいと思う。
- ・バスの便を朝1便、帰り1便増やしてもらいたい。
- ・スクールバスをもう1本遅い時間に増やしてほしい。
- ・部活の終わる時間に合わせたバスの運行。
- ・水曜日のバスの時間を 15:30~16:00 位にならないか?
- ・スクールバスの帰りの便をもう 1 便 (19:00 ぐらい) 増やしてもらえたら 保護者の負担が減ると思う。
- ・部活に見合ったバスの運行時間を考慮してもらいたい。(土・日も含めて)
- ・帰りも中学校へスクールバスが来てほしい。
- ・スクールバスを、下校時と部活終了時の2便運行してもらえれば助かる。
- ・どこから乗っても学生割または無料にしてほしい。
- ・1時間に1本ぐらいのバスか鉄道があれば利用したい。
- ・下校時のスクールバスの時間を18:15~30の間にして欲しい。
- ・停留所に屋根等雨風をしのげる物がほしい。できれば増便してほしい。

8. 将来の四万十町における移動手段確保策に対するご意見、より良くするための提案など

- ・街中に全員集まれば良い
- ・保護者の負担は子供のためなので、当たり前だと思う。全てを町での移動 手段にまかせて活動していけば保護者の負担は軽減されるが、この様な時 代、全てをまかせる事で、コミュニケーションや事件など(特に女の子) への不安など、中学生、高校生だからおこりうる他の問題も出てくる様な 気もする。親が負担に感じながらも関わることも必要。
- ・最終便のバスに乗ると部活動が最後までできない。可能な限り迎えに行っているが家庭(仕事上)の事情で迎えに行けない時もある。練習を途中で帰ると試合にも出られない。(部によって)力にも差がつく。今はなくなったが、1 学期中は友達から「さぼり」などと言われ、嫌な思いをすることもあり、できれば最終便を部活終了時間に合わせて頂きたい。
- ・雨の日等の行き来にスクールバス(有料で)の利用が可能になれば良い。見付~窪中。
- ・スクールバスが運行している所まで自転車で行くと帰りがしんどい。結局、 行きも帰りも親が送迎する。家庭の中に、車を運転出来る人が多い所は良 いが、1人しかいない場合、親の都合で部活も休みになる。とにかくバス もスクールバスも利用するにはバス停が遠いので、結果、親の送迎。
- ・土・日・祝の時に、学校がある場合、バスが小さいので大型のバスにして いただきたい。(座る場所が少ない。)
- スクールバスが利用できたら良い。
- ・バスも利用したいが、部活をしておりそれに合う時間がなく利用できない。送迎している者により、交通費も考えて頂きたい。
- ・自分たちはまだ街の中なので歩道もあり、街灯や人の目もある方だと思う。 ただ、少し街から離れたところを子供が帰宅している姿には危険を感じる ことも多い。(私が特に思うのは大井野地区)歩道が狭い。街灯がない等改 善してもらうかスクールバスに空きがあるなら利用できるようにすること も検討頂きたい。
- ・水曜日は帰りが早く、クラブもないが、バスがいつもの時間 17:40 分で、 子供は早く帰りたいので迎えに来てと電話してくる。水曜日のスクールバ スは時間を早くしてほしい。
- ・部活をやる子供が多いなら部活の終了時間を決めバスが出るようにしてもらえたらありがたい。(地区のバス停標識を設置してもらいたい。)
- もっと子供が気軽に使えるように何便か出してほしい。影野方面は一番行きも帰りも時間がおそいのでもう少し早い時間を作ってほしい。
- ・何かで見たが、乗り放題タクシーが取り組んで人気とのこと。バスは 100 円の日ができると聞いた。新しい取り組みに期待する。
- ・コミバスの運行を増やしてお年寄りや車を所有してない人が多く利用出来

るようにしたら良い。 将来子供の数も減ってくるので、スクールバスに 一般の人も乗車できるようにしたら良い。

- ・子供の登下校時にバスに乗れる様になれば助かる。休日の部活動の送迎も あれば良い。もう少し小さい車でも良い。
- ・小学校適正配置の当初説明会等でも、合併後は、家の前までスクールバスを回すなど説明があったが、中学校もせめて、各集落に1つは乗車場所を設けてほしい。それと今後高校等で市内の学校に通学する生徒もいるが、JRの最終便が須崎止まりとなっており不便。須崎以西の保護者や行政などが協力して交通機関に提案をしていただきたい。行政が無理なら近隣、保護者と今後検討をしていきたい。
- ・家の前で乗降車出来ているので特にない。
- ・実際に、町内を自転車で回ってみると危険な所が分かる。
- ・良くする為に、自転車で町内を回ってみたら危険な所が分かる。
- ・部活をやっている生徒が利用できるバスがないと、親が送迎しなければならない。どの地区にいる生徒も、スクールバスが利用できるようすべき。 歩道スペースの確保をお願いしたい。歩道の伸びすぎている草をよけて車 道に出てしまうので、整備してほしい。街灯を増やしてほしい。現状を把握してほしい。(本当に)
- ・児童が少ない地域は中型のバスではなく、ハイエースくらいの大きさで良い。スクールバス1本になると時間が決まっているので一般のバスも乗れるようにしたら良い。見かけるバスの乗車数もあまりいないので。
- ・スクールバスと一般のバスの時間がほぼ同じなので朝は別でも良いが、帰りは時間がズレていて、部活のない子はスクールバスの券等で一般バスの時間、駅から乗り、帰りのスクールバスを部活組の少し遅い時間の便(学校発)等に出来るのであれば、無駄もなく、部活の迎えも減り親子供に負担が少なくなる。
- ・ワンコイン(500円)タクシーがあれば良い(町内) 小型バスによるこま めな路線。
- ・本数を増やして、ニーズに合った時間にバスがあると利用しやすい。
- ・移動手段ではないが、通学路(中学校~根々崎の通り)がとにかく暗い。 所々街灯もあるが電気がついていない物もあるし、全部点けたとしても暗い。防犯の面でも、事故などの面でも危険。3.4 年ぐらい前から学校へも 伝えているが改善されていないまま今も同じ状況。子供自身も暗くて危な いと感じている。バス通学を利用していないが、雨の場合など七里・米奥 経由のバスに便乗させてもらい途中下車も可能であれば、大雨や台風の時 などに利用したい。
- ・スクールバスが下校時に2便出して欲しい。部活引退後待ち時間が長くなる。地区によって2便ある所がうらやましい。
- ・バス停どこでも分かりやすく、待っている間、雨・風が当たらない様にする。 高齢の方や病気の方のためにイスを用意するなどやさしさある環境

を求める。

- ・停留所にイスなど置く(高齢者向け)道路の整備、停留所に雨が降っているときの待ち時間ぬれないための小屋の設置など。
- ・自分(40代)が通っていた時代は、保護者の送迎等ほとんどなかった。今は保護者が車の免許を持っていなければ、学校には通えない時代だと感じる。部活動のことも含め、学校側、バス側で何か良い方法はないのか。朝早く走っているバスにはほとんど人は乗っていないし。子供は減ってきているのか、だんだん通りにくくなっているのを感じる。
- ・興津行きのスクールバスをお願いしたい。仁井田経由で長時間なのでしんどい。
- ・バスの時間を調整してほしい。
- ・左側通行が基本だが路方があるのに、左側通行し車の横を自転車で走るの は危険に感じている。
- ・スクールバス便、時間をずれて(クラブ終了に合わせ)出す話も、以前あったが、今まで通りがいい。交通便も習慣の方が強く、学生住まい地区を 記入すれば意見等言い難し。
- ・部活動している生徒は必ず最終バスに乗れないので、最終バスの発車時刻を考えてもらいたい。(18:45 頃など)水曜日は学校が部活動休みと決めているため「すぐに帰宅を」といわれるがバスがないため帰れないので、その曜日だけでも終了時刻との接続が可能であれば助かる。(定期バスなので難しいか。)
- スクールバス利用を選択できる。
- ・バス等の交通機関の便が少なすぎる。これは老人も同じなのでこれから老人による事故が増加する。四万十町は老人が運転する車が多いので、そのうち他県で起きている様なアクセルとブレーキの踏み間違いが必ず起こると考える。
- ・中学校の休みの日でも小学校用に出ているスクールバスに乗れるようになれば助かる。
- ・路線バスの便数を増やして欲しい。
- ・小さなバスでいいので、巡回しているような便があればうれしい。
- ・スクールバスが出ていない時のバスチケットはありがたい。ただバスが南川口までで桧生原まではないので残念ながらあまり利用できません。あと以前から、中学校が代休の日(例えば月曜日)に部活があるので学校にいくが、小学校用に出るスクールバスに乗れるのか。是非利用したい。
- ・スクールバスが利用できない時は、家が遠いので送迎が少し大変。
- ・以前にスクールバスの 18 時半のアンケートがあったが、その結果も保護者 にはなく、親の負担も考えてもらいたい。
- ・現在、学校まで距離が近い為、困ることはないが、家が遠い方や、部活動などで送迎している話を聞くと、大変と思う。子供達の安全・安心が一番なので、今以上に対策を続けて欲しい。

通学と将来のまちづくりに関するアンケート [興津中学校]

1. アンケートの配布と回収

学年	配布数	回収数	備考
1 学年	0	0	
2 学年	3	2	
3 学年	1	1	
無回答	0	0	
	4	3	回収率: 75.0%

2. 回答者の居住地区 [回答者数の多い順及び地区名を五十音順]

興津	3
----	---

3. 通学の手段

(1) 登校 [複数回答可]

晴れた日

0 1 2 3 5 徒歩 3 自転車 スクールバス 鉄道(JR土讃線) 鉄道(JR予土線) 0 鉄道(土佐くろしお鉄道) 0 0 保護者等による送迎 その他 0 無回答 0 徒歩 自転車 0 スクールバス 0 鉄道(JR土讃線) 0 鉄道 (JR予土線) 鉄道(土佐くろしお鉄道) 0 保護者等による送迎 その他 0 0 無回答

<u>荒 天 時</u>

(2) 下校 [複数回答可]

晴れた日

自転車 スクールバス 0 鉄道(JR土讃線) 鉄道 (JR予土線) 0 鉄道 (土佐くろしお鉄道) 0 保護者等による送迎 その他 0 無回答 0 2 3 5 3 徒歩 0 自転車 スクールバス 0 鉄道(JR土讃線) 0 鉄道(JR予土線) 0 0 鉄道(土佐くろしお鉄道) 0 バス 保護者等による送迎 0 0 その他 0 無回答

0

徒歩

2

3

3

4

5

<u>荒 天 時</u>

4. 通学に公共交通(鉄道、バス)を利用していない理由

(通学に公共交通を使っていないと記入した人のみ回答可)

図:通学に公共交通を利用していない理由 [複数回答可]



その他

- ・中学校が自宅の前にある。
- ・徒歩で通学出来る距離である。
- 5. 通学途中に危険を感じたこと、もしくは潜在的な危険箇所 『危険を感じたことがある、潜在的に危険な場所がある』と回答:0
- 6. 学校以外での外出について
- (1) 行き先

友人の家、祖母の家

(2) 移動手段

図:学校以外での移動手段[複数回答可]



7. 子どもの通学について負担に感じていること



8. 将来の四万十町における移動手段確保策に対するご意見、より良くするための提案など

回答なし

通学と将来のまちづくりに関するアンケート [北ノ川中学校]

1. アンケートの配布と回収

学年	配布数	回収数	備考
1 学年	2	2	
2 学年	6	5	
3 学年	8	8	
無回答	0	0	
	16	15	回収率: 93.8%

2. 回答者の居住地区 [回答者数の多い順及び地区名を五十音順]

北ノ川	5	烏手	2	上宮	2
打井川	3	希ノ川	2	無回答	1

3. 通学の手段

(1) 登校 [複数回答可]

晴れた日

 0
 2
 4
 6
 8
 10

 徒歩 自転車 スクールバス 鉄道 (JR予土線) 鉄道 (JR予土線) 鉄道 (土佐くろしお鉄道) バス 保護者等による送迎 その他 無回答
 3
 0

 公
 4
 0

 無回答
 4



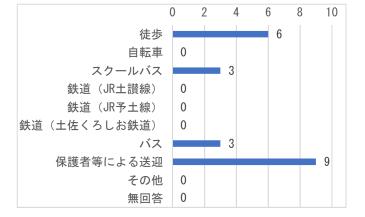
<u>荒 天 時</u>

(2) 下校 [複数回答可]

晴れた日

4 6 8 10 徒歩 自転車 スクールバス 3 鉄道(JR土讃線) 鉄道 (JR予土線) 鉄道(土佐くろしお鉄道) バス 保護者等による送迎 その他 0 無回答

荒天時



4. 通学に公共交通(鉄道、バス)を利用していない理由

(通学に公共交通を使っていないと記入した人のみ回答可)

図:通学に公共交通を利用していない理由 [複数回答可]



その他※重複の内容は省く

- ・家が近い。
- ・自転車のほうが便利。
- 徒歩5分。

5. 通学途中に危険を感じたこと、もしくは潜在的な危険箇所

『危険を感じたことがある、潜在的に危険な場所がある』と回答:4

表:通学中などに危険と感じた事象

居住地	危険と感じた事象
烏手	通学路に貯木場がある為、トレーラートラック(木を積んだ車)
	とぶつかりそうになった。道が狭いので道を広く整備してほし
	い。安全に子供が通える道にして欲しい。
北ノ川	家の近くの水路。
上宮	日が短くなると、外灯が少ないし、人気のない道も通るので心
	配。それと、上宮地区は、沈下橋から国道に出る時、横断歩道
	を渡るが、信号もなくカーブなので危険。
打井川	外灯がないこと。

6. 学校以外での外出について

(1) 行き先

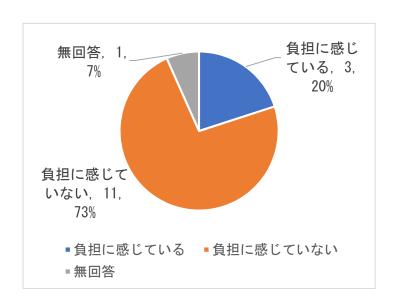
北ノ川地区にある友人の家、近所のお店か祖母の家、部活で学校に行く時 地区の友人の家、塾、打井川地区の友人の家、他

(2) 移動手段

図:学校以外での移動手段[複数回答可]



7. 子どもの通学について負担に感じていること



【負担に感じている内容】

- ・片道 1.6kmなので晴れの日は自転車で行けるが、雨の日の送迎が負担である。
- ・仕事が忙しい時などに(自営業)、子供の登下校の時間に合わせて雨の日は送迎が必要で負担である。

・雨の日の送迎は当然なこと。バスで帰ってきてくれる時はとてもありがたく感じる。

【負担軽減につなげるアイデア】

- ・水曜日のみ 100 円で窪川まで使用できるバスがあるが、水曜のみで時間も 少なく利用できていない。毎日通ってくれて、学校の生徒はチケットなど で割引してくれるとうれしい。
- ・必要な時だけ、町のバスに乗ることが出来る無料クーポンの配布など。家 の下の道を定期便が通っている。
- 8. 将来の四万十町における移動手段確保策に対するご意見、より良くするための提案など
- ・最後の1人まで、通学における手段の確保を。遅刻以外の親送迎(家族)、 クラブ等で(町の移動以外)は手当があればいい。車酔いしやすい子への 対策を。
- ・自分たちが学校に通っていた時のように児童、生徒の数も多くなく、集団登校ということもないので、スクールバスの利用はとてもありがたかった。上の子の時は、最初は自転車通学をしていたが、道中を心配し車での送迎に切り換えた。(まだスクールバスに乗れなかったため)子供の数はますます減っているが、地区から学校に通う子供がたとえ、1人・2人になってもスクールバスは運行していただきたい。

通学と将来のまちづくりに関するアンケート [大正中学校]

1. アンケートの配布と回収

学年	配布数	回収数	備考
1 学年	9	7	
2 学年	12	10	
3 学年	16	5	
無回答	0	0	
	37	22	回収率:59.5%

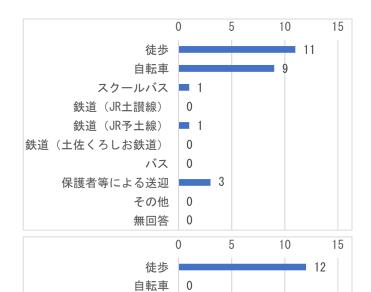
2. 回答者の居住地区 [回答者数の多い順及び地区名を五十音順]

大正	10	金上野	1	本町	1
江師	3	小石	1	梼原町松原	1
大奈路	2	大正南町	1	無回答	2

3. 通学の手段

(1) 登校 [複数回答可]

晴れた日



0

0

10

バス 💻 1

その他

無回答 0

スクールバス 鉄道(JR土讃線)

鉄道(JR予土線)

保護者等による送迎

鉄道(土佐くろしお鉄道)

<u>荒 天 時</u>

(2) 下校 [複数回答可]

晴れた日

5 10 15 10 徒歩 自転車 スクールバス = 1 鉄道(JR土讃線) 鉄道(JR予土線) 鉄道(土佐くろしお鉄道) バス 保護者等による送迎 == 3 その他 無回答

荒天時



4. 通学に公共交通(鉄道、バス)を利用していない理由

(通学に公共交通を使っていないと記入した人のみ回答可)

図:通学に公共交通を利用していない理由 [複数回答可]



その他※重複の内容は省く

- ・学校に近い。
- ・徒歩で通学出来る。
- ・親の仕事の時間とだいたい合う為、送り迎えができる。
- ・保護者が送迎できる。

5. 通学途中に危険を感じたこと、もしくは潜在的な危険箇所

『危険を感じたことがある、潜在的に危険な場所がある』と回答:8

表:通学中などに危険と感じた事象

居住地	危険と感じた事象
大正	住宅の駐車場で、小さな子供がいても平気でとばして出入り
	する若いお母さんが数人いて、本当に危ない。
大奈路	外灯もなく暗い。草が多い。
江師	駐車場からバックで出てきた車に当てられたことがある。ト
	ンネルの手前を横断するので、ライトをつけてない車が来た
	りすると気がつかない時がある。
梼原町松原	冬に真っ暗な中、帰っているのが危ないと感じる。
大正	メイン通りでない道は、夜遅くは電灯が少なくとても暗いの
	で、朝以外は使わないよう言っている。
無回答	街灯が少なく、冬の下校は暗い。
江師	トンネルの手前を横断するため、ライトをつけてない車など
	気がつかず渡ってしまうことがある。
大奈路	帰りのスクールバスの時間が合わない時などに自転車で登
	下校する。大正(田野々)から大奈路まで、外灯が少なく、
	夜は真っ暗になり危険を感じる。

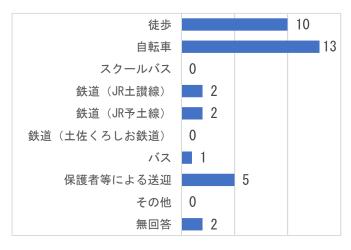
6. 学校以外での外出について

(1) 行き先

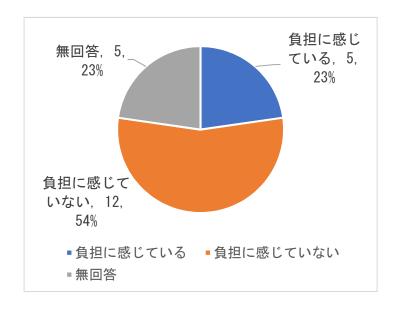
江師の友人の家、大正地区にある友人の家、スーパー、田野々・大奈路の 友達の家、部活、親戚の家、他

(2) 移動手段

図:学校以外での移動手段[複数回答可]



7. 子どもの通学について負担に感じていること



【負担に感じている内容】

- ・夕方、忙しい時間に迎えが重なる。
- ・雨の日の送迎。
- ・遠方からの通学で、仕事終わり待ち時間が長いと負担に感じる。帰宅後の 時間が短く、いつも時間におわれる。
- ・JRが止まったら送迎に行かないといけない。本数が少ない。
- ・スクールバスの時間が間に合わないときに保護者の送迎が必要なときがある。

【負担軽減につなげるアイデア】

- ・なるべく終了時刻通りに子供に出るように指導をお願いしたい。
- ・JRが止まったら代わりのバスを出して欲しい。
- ・スクールバスの柔軟な対応。

8. 将来の四万十町における移動手段確保策に対するご意見、より良くするための提案など

- ・COOL CHOICE 宣言の町四万十町!意味が分からない。公共交通機関の利用 促進をしよう!バスと汽車 2~3 時間に 1 本でどうやって利用しろという のか。四万十町の将来の公共交通のあるべき姿や理相とする姿?もっと前 から不便なことは分かっていたはず。遅すぎる。移動手段確保策は、あな たたち、行政が考えるべきことではないか。私達は税金を払っている。
- ・人口減少の流れは避けられないため、学校の統廃合が進むのはやむを得ない。だからこそ、隔通の効くスクールバスの運用を実現してもらいたい。 民間の路線バスも、人口が少ないなりにバスそのもののコンパクト化をしたらどうか。中型バス→ワゴン車へなど。それによって維持費や小回りの効く会社経営にもつながる。
- ・無料のシャトルバスがあればいい。
- ・これだけ広い範囲で一般の公共の乗り物では難しいので、小さな車を利用 した四万十町独自のサービスが必要。
- ・バスも料金が高すぎる。窪川から大正まで 1000 円以上・・・。誰も利用しない。料金も安く、便も多いと利用しやすい。
- ・スクールバスでは、部活動の時間が限られてしまう為、自転車で通学している。本人も嫌がることなく、自転車通学は体力づくりにも良いと感じているが、暗くなり、街灯が無いことは心配である。小学校もスクールバスだが、家の下から学校の玄関まで送迎してくれる。安全ではあるが、役場や駅からは歩くというかたちでもよいのではないかと考える。
- ・路線バスの便の拡大、工夫等。

通学と将来のまちづくりに関するアンケート [十川中学校]

1. アンケートの配布と回収

学年	配布数	回収数	備考
1 学年	14	8	
2 学年	15	15	
3 学年	10	9	
無回答	0	0	
	39	32	回収率:82.1%

2. 回答者の居住地区 [回答者数の多い順及び地区名を五十音順]

昭和	9	大井川	3	里川	1
井崎	4	久保川	2	地吉	1
小野	4	十和川口	2	鍋谷	1
十川	4	古城	1		

3. 通学の手段

(1) 登校 [複数回答可]

晴れた日





<u>荒 天 時</u>

(2) 下校 [複数回答可]

晴れた日

10 20 30 徒歩 **1**5 自転車 スクールバス 13 鉄道(JR土讃線) 鉄道(JR予土線) 0 鉄道(土佐くろしお鉄道) 保護者等による送迎 10 その他 無回答 0 0 10 20 30

荒天時

4. 通学に公共交通(鉄道、バス)を利用していない理由

(通学に公共交通を使っていないと記入した人のみ回答可)

図:通学に公共交通を利用していない理由[複数回答可]



その他※重複の内容は省く

- ・学校で自転車通学と決められている。
- ・保護者等の送迎が通勤時間に合っている。
- ・利用可能な距離ではない。
- ・公共交通を利用するほどの距離ではない。
- ・休日の部活では、時間が不規則なため路線バスの時間を探すよりも親の 送迎で行き来する方が便利。

5. 通学途中に危険を感じたこと、もしくは潜在的な危険箇所

『危険を感じたことがある、潜在的に危険な場所がある』と回答:11

表:通学中などに危険と感じた事象

居住地	危険と感じた事象
昭和	スクールバスまでの道は狭く、街灯も無い。冬場は暗く石がお
	ちていても見づらい。夏は、イノシシやシカもでる。
十和川口	下校時、街灯がない場所が多く、1人なので危険。
井崎	落石。
井崎	街灯が無く、家も無いところがあり、部活が終わってから自転
	車で帰るのは、危険だと感じる場所がある。
小野	帰りに暗い時間になると、外灯が無い道路は怖い。
十和川口	通学路に街灯が無く、冬期の間は暗い中下校するので、できる
	だけ車で迎えに行っている。土砂崩れや危険箇所が数カ所あり、
	迂回するため距離が遠くなっている。
井崎	子供の数が少なく、夕方になると交通量も減るので何かあった
	時の連絡がとれない。落石が多い。ガードレールがない所があ
	る。街灯が無いもしくは少ない。道路脇に草が多く、車とのす
	れ違いが危ない。
久保川	自転車での転倒(道路がぬれていて滑りやすい)暗くなってか
	らの下校。(街灯等が少なく危険)
十川	三好屋の前の交差点の所、意外に速度を落とさない車がいる。
井崎	ガードレールの整備が不十分のうえ、草が生い茂っているので
	路肩が見えていない。街灯が少なく夕方になると小動物やシカ
	がいて危険である。落石が多い。
十川	通学路に溝やでこぼこが多い。牛楽亭の前の道路。子供がバラ
	ンスをくずして転倒し、顔を3針縫った(子供の不注意による
	ものかもしれないが)。

6. 学校以外での外出について

(1) 行き先

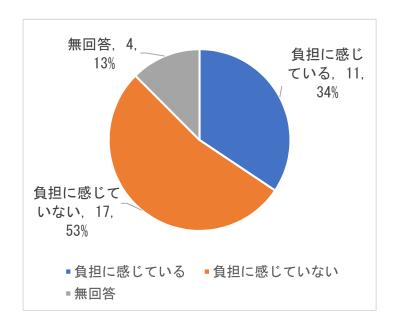
十川の知人宅や池、久保川地区のお店、学校、昭和地区にある友人の家、小学校の校庭、地吉地区にある友人宅、昭和の親戚の家、他

(2) 移動手段

図:学校以外での移動手段[複数回答可]



7. 子どもの通学について負担に感じていること



【負担に感じている内容】

- ・部活動(休み中)での送迎。スクールバスが地区を通っていないので雨の 場合は、バスの所まで送迎しないといけない。
- ・朝練の時、自転車では間に合わないので送迎している。
- ・雨の日の送迎が大変。下の子達の送迎もあり、日に何度も往復しないといけない。仕事の関係でなかなか迎えに行けず子供を長時間待たせてしまうことも多い。
- ・夕方 18:30 の迎えは、夕食作る時間で、作業が中断してしまう事がある。 日曜の部活で試合の場合、帰り時間がはっきり分からない。
- ・休日の部活動への送迎。
- ・親の時間と子供の時間が合わない時は何度も往復しないといけない。
- ・部活動に時間のズレがあり、何度も送迎しなくてはならない(特に休日)
- ・部活動や課外活動に保護者等による送迎が必要なこと。
- ・学校休日の部活動にスクールバスがないので、学校まで送り迎えをしなければいけない。(仕事に支障がでる。)
- ・朝は自転車でも部活後の帰りが遅くなり、外灯も少ないし、また同じ方向 の生徒が少ない為、心配で迎えに行かざるを得ない。
- ・部活動の終わり時間がバラバラで何度も送迎しなければならない。スクールバスがあれば、利用したいが今まで例がなく利用するには抵抗がある。
- ・休日の部活の時にスクールバスが出ないので、親の送迎が必要である。試 合の時は午前6時台の送りがあるので負担と感じる。

【負担軽減につなげるアイデア】

- ・里川~昭和までは人数が少ないので、ワンボックスカーで来てもらえたら、 自宅前で乗車できる。
- ・朝だけでも小学生の送迎バスに乗っていけたら。
- ・通学バスの通り道、バスの席も空いているなら雨天時だけでもバスを利用 させてほしい。
- ・バスが近くを通るので、(昭和方面からのバス)乗れたらいいけど、他の方面の人はやっぱり乗れないので、ここだけというのは乗りにくい。
- ・小学校のスクールバスを利用できたらありがたい。(雨の時等だけでも)
- ・スクールバスを利用できるようにしてほしい。小学校のバス時間との調整。部活時間(朝練)との兼ね合いも含めて。
- ・スクールバスの運行を充実させる。公共交通の利便性を高める運行ダイヤ にする。
- ・学校休日の部活動にもスクールバスを出してほしい。
- ・スクールバスでなくでも良いが、何かしらバス等の運行があれば助かる。

8. 将来の四万十町における移動手段確保策に対するご意見、より良くするための提案など

- ・小学校、中学校も大正と合併したら、JRで通学が可能になり予土線も便 数が増えるのでは。
- ・子供の送迎が負担になっている家庭は多いと思う。通える範囲なので自分の足で行くことも大事だと思うが、希望を取り、通学バスの利用も考えてもらう。国道沿いに数ヶ所停留所を構え家庭で必要な場合は利用させてもらえればとても助かる。冬は特に帰りが遅いと不安になる。雪の日の運転も不安。
- ・白タクの認可。
- ・県道・町道と奥へ行く程街灯も無く暗くなる。昼間は大丈夫でも夕方以降 暗くなると不安になる。中学生でもバスの利用ができるとありがたい。
- ・今のままでよい。
- ・路線バス、JRなど、もう少し便数が多くあれば良い。
- ・公共交通機関やスクールバスの使用ができるようになれば、各家庭での送 迎がなくなり、バスの利用人数も多くなり、排気ガスによる温暖化防止に 少なくともプラスにつながる。
- ・里川地区は木曜日のコミバス (大正行きのみ) だけなので、昭和行きのバスが欲しい。(浦越まではある) 時折、スクールバスに乗れたら助かる。
- ・ 通学時間帯の路線バスの運行。小学校のスクールバスへの乗車許可。
- ・各家庭での送迎が当たり前となっているが、公共のバス、スクールバスの利用によって親の負担も減ってくる。また、環境にも良い。部活動の開始時間終了時間がバラバラでなく、同じ時間に終わるように、学校の方から町と話し合って、親の負担を少なくして欲しい。(開始時間終了時間が、30分くらいしか変わらない場合は特に)

通学と将来のまちづくりに関するアンケート [窪川高等学校]

1. アンケートの配布と回収

学年	配布数	回収数	備考
1 学年	27	25	
2 学年	24	23	
3 学年	26	18	
無回答	0	1	
	77	67	回収率:87.0%

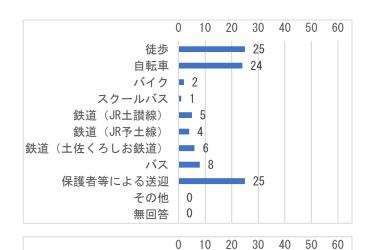
2. 回答者の居住地区 [回答者数の多い順及び地区名を五十音順]

興津	5	奥呉地	1	東大奈路	1
香月が丘	4	北琴平町	1	東川角	1
茂串町	4	口神ノ川	1	平串	1
本町	4	黒石	1	本堂	1
家地川	2	琴平町	1	南川口	1
金上野	2	米奥	1	宮内	1
下呉地	2	七里	1	向川	1
西川角	2	七里甲	1	黒潮町佐賀	4
野地	2	仁井田	1	黒潮町	1
東又	2	西原	1	須崎市浦ノ内	2
古市町	2	根元原	1	須崎市多ノ郷甲	1
市生原	1	希ノ川	1	須崎市大間本町	1
壱斗俵	1	払川	1	無回答	4
打井川	1				

3. 通学の手段

(1) 登校 [複数回答可]

晴れた日



0

0

その他

無回答

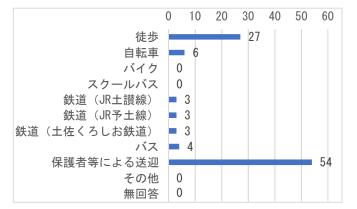
<u>荒 天 時</u>

(2) 下校 [複数回答可]

晴れた日

0 10 20 30 40 50 60 徒歩 23 22 自転車 バイク 2 スクールバス 0 鉄道(JR土讃線) **—** 5 鉄道(JR予土線) 鉄道(土佐くろしお鉄道) ____6 バス 保護者等による送迎 31 その他 0 無回答 0

荒天時



4. 通学に公共交通(鉄道、バス)を利用していない理由

(通学に公共交通を使っていないと記入した人のみ回答可)

図:通学に公共交通を利用していない理由 [複数回答可]



その他※重複の内容は省く

- 家が近い。
- ・駅は遠く、バスは人が多くて乗れない。
- ・家族の者が町内で勤務の為、家を出る時間が同じくらいだから。
- ・自分の気に入った時間に登校したい。

5. 通学途中に危険を感じたこと、もしくは潜在的な危険箇所

『危険を感じたことがある、潜在的に危険な場所がある』と回答:11

表:通学中などに危険と感じた事象

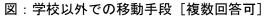
居住地	危険と感じた事象
茂串町	窪川薬局の横断歩道、押しボタン信号を押して、赤に信号が変
	わっても、信号を無視して通行してくる車が非常に多い。
北琴平町	高校の下の信号あたりが危ない。
本堂	信号機のない横断歩道がいくつもあるので、その場所が危ない。
七里	窪川高校下の横断歩道で生徒が横断しようと待っていても止ま
	ってくれる車は少ないと感じる。
金上野	金上野の町営住宅への入口(反対側に KUBOTA)で左折してくる
	車とぶつかりそうになった事がある。
東又	ゴルフ場を登りきった所、周辺歩道がきれている。
払川	小学校の時、川にガードレールが無く、自転車で通学中に自転
	車ごと川に落ちたため保護者通学にした。
向川	道が狭く、見通しが悪かったり、飛ばす車がいたりすると危な
	٧٠°
黒石	窪川から東又に帰る道に外灯が少なく夜道の下校は危険を感じ
	る。
平串	高校生になり国道を利用出来ているので、概ね大丈夫。
南川口	三年坂入口は、車の入れ違いがしづらいほど狭い。出合い頭事
	故が心配。

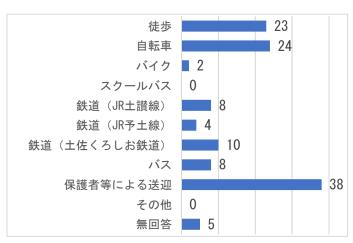
6. 学校以外での外出について

(1) 行き先

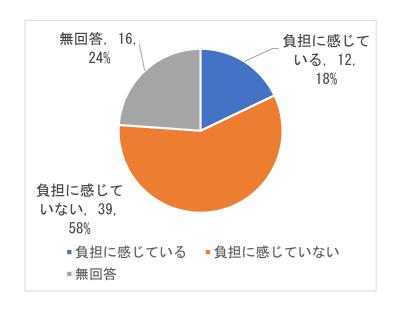
窪川町内ある友人の家、高知市内に行く、じゆうく、町内の店、中村、アルバイトに行く時、学校行事、図書館、町内親族、B&G、黒潮町の祖父の家、大方入野、土日祝の部活動、四万十市中村まで友人と買物、他

(2) 移動手段





7. 子どもの通学について負担に感じていること



【負担に感じている内容】※主なものを抽出

- ・汽車が運休時に学校まで送らなければいけない。
- ・雨のためバスが興津峠を通行できないこと。
- ・悪天候の時、JRが運転見合わせになることが多いし、迎えに行けない時 に時間帯が合わない時がある。
- ・仕事をしている為、通勤・通学で1日に何往復かするのがしんどい時がある。
- ・雨、雪の日に送迎をしている。
- ・自宅から駅まで少し遠く特急の朝早い便でないと登校時間に間に合わない。 特急は雨や風等でも止まってしまい急に窪川まで送迎になる時がある。
- ・自分の帰宅時間と合わない時 (残業で遅くなる時)
- ・汽車の本数が少ない。
- ・試験の日等、早く終わった日の迎えが負担(台風の時など)
- ・毎日のことではないが、じゆうくに迎えに行くときに少し負担を感じる。
- ・母子であり、仕事の都合上送迎が難しい。
- ・中学校との下校の時間がずれた時に自宅との往復を繰り返すこと。
- ・黒潮町と遠いので汽車に乗り遅れると遅刻。
- ・雨で荷物が多い時など送迎をしている。

【負担軽減につなげるアイデア】※主なものを抽出

- ・バスが通行できない場合は、早めに教えてほしい。
- ・今は、運行状況を見ることができているが、運休運転見合わせになった時 に他の手段で対応できればありがたい。例えば、バスを出すとか。
- ・ 鈍行の便の時間変更をして欲しい。駅から高校(窪川)までのバスの運行。
- ・自転車で行くよう勧めている。
- ・学校で待てる時は待ってもらう。その他は役場の1階等を利用させてもらっているがその様な安全な場所(勉強が出来る)があればいい。
- ・帰りの時間に合わせてバスがあればありがたい。
- ・スクールバス(中学校用)に便乗させてほしい。
- ・昼~夕方にかけたバスの少なさを解消して欲しい。
- ・鈍行が 8:20 に窪川駅に着くので、朝のホームルームを 35 分頃にしてもら う。
- ・窪川からバスが出ていると助かる。

8. 将来の四万十町における移動手段確保策に対するご意見、より良くするための提案など

- ・学生の運賃を安くする。公共交通機関の運行時間を学校の登校・下校に(例えば、期末テスト週間の時等にはお昼下校)などがあるため。
- ・バイクで通学(距離関係なく)。
- ・登下校時に危険な場所に人を配置する。
- ・バスや電車の本数が少しでも増やせれば良い。
- ・定期バスも朝一便あるが、学校の開始時間にはかなり早く、悪天候の時に は運転見合わせなど、交通手段の乱れで困る時がある。学校に合せた時間 帯を考えてもらいたい。
- ・最終のバスの時間でもう少し遅い便が欲しい。部活動をせめて最後までやらせてあげたい。
- ・バスや汽車の便を増やす。
- ・利用者が減ってきているとは思うが、バスは無くしてはいけない。
- ・JRの時間帯が帰宅時間に合っていない。
- ・窪川高校下でバスの乗降ができるようになればありがたい。部活が終わってから乗れるような 19:00 頃発の大野見行きがあればありがたい。
- ・汽車が運行しない場合、移動手段が何かあれば助かる。(仕事上、送迎が難 しい時があるため)日中、雨などで汽車が運休しそうなときは、できるだ け早くに授業を切り上げて生徒を汽車に乗って帰れるようにするなど。
- ・窪川小学校のスクールバスに乗せてもらえると助かる。
- ・町が広いので、遠い所だけでなく町中もスクールバスで送迎してほしい。
- もっとバスを多くする。
- ・もう少し汽車を増やしてほしい。
- ・窪川から高知市への片道切符の値段が高いと感じる。土佐くろしお鉄道が 土日祝に販売している「土佐くろおでかけきっぷ」のような切符を土讃線 でも販売してほしい。500円でとは流石にいけないのが現実であろうから、 少し高めでもいいので普段往復切符を買う値段よりは安い切符を土日祝に 販売して頂きたい。
- 田舎こそバスは運行させるべきであるが、利用者減少でより良くという案がでてこない。
- ・バス停を高校前につくってほしい。バスの時刻を高校登校時間に合わせて 頂きたい。
- ・バスの運賃を安くしてほしい。
- ・自転車道を整備してほしい。けどもし、整備されたとしてもその頃には通らないでしょうけど。
- ・今のままで良い。
- ・鉄道や路線バスも家から離れているので、どうしても車になってしまう。 バスの場合は、バス停まで自転車で行けるが自転車を置くところがない。

私が子どもの頃はあったので利用できたが、自転車を置けないとバスには 乗れないので、そこをなんとかしてもらいたい。あと運賃が高い。

- ・クールチョイス 宣言で公共交通機関を利用するとあるが、利用できる交通機関がないうえに料金が高すぎる。バスは、窪川から大正まで 1000 円超える。往復で 2000 円超えなんて高すぎる。せめてバスも汽車も 1 時間に 1 本あればいい。クールチョイス宣言のボスターを目にしてから選択肢がないのに何を言っているのだろうと思う。
- ・中学校の頃の通学路やバスの利用など、平串地区などではもう少し考えて ほしかった。(他の地区のことはわからない)
- ・四万十町民はワンコインでタクシーを利用出来る制度を考えてもらえれば ありがたい。(全町民は難しければ、子供・高齢者など限定でも)
- ・高校生のバイク通学の拡充。生徒数確保のため、広い校区で生徒を募集した場合交通インフラの弱い地域での生徒の通学の足としてバイク通学も選択の一つではある。現在認められている 50cc (原付) の排気量の規制を125cc (原付2種) まで拡大し、通学の利便性と安全性を計り、同時に SNS教育と同様交通教育も行うべき時ではないか。私も成人して 50cc を使ったことがあるが、慢性的な「煽られ状態」でかえって危険ではないかと常々感じていた。加えて窪校卒業生の半数以上が卒業後町外に出るのなら親元に居る間に二輪車を通じて本格的に「道交法」に触れさせる事で、結果的に卒業後の子供の交通安全につながるのではないか。免許の取得について学校で制限を設けず、各家庭の判断に任せる。
- ・今後の四万十町内の高等学校生のためにも通学費支援制度を続けていったらいい。

通学と将来のまちづくりに関するアンケート [四万十高等学校]

1. アンケートの配布と回収

学年	配布数	回収数	備考
1 学年	28	20	
2 学年	19	17	
3 学年	11	10	
無回答	0	0	
	58	47	回収率:81.0%

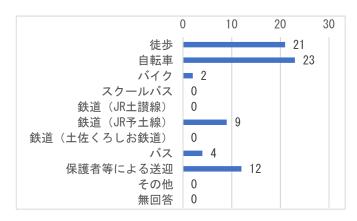
2. 回答者の居住地区 [回答者数の多い順及び地区名を五十音順]

大正	24	井崎	1	土場	1
江師	2	古城	1	十川	1
小野	2	昭和	1	小石	1
北ノ川	2	地吉	1	中土佐町久礼	1
轟崎	2	大正大奈路	1	無回答	4
相去	1	大正北ノ川	1		

3. 通学の手段

(1) 登校 [複数回答可]

晴れた日



<u>荒天時</u>



(2) 下校 [複数回答可]

晴れた日

10 20 30 徒歩 21 23 自転車 バイク 💻 2 スクールバス 鉄道(JR土讃線) 鉄道(JR予土線) 鉄道(土佐くろしお鉄道) バス 💳 4 保護者等による送迎 12 その他 0 無回答 0

荒天時



4. 通学に公共交通(鉄道、バス)を利用していない理由

(通学に公共交通を使っていないと記入した人のみ回答可)

図:通学に公共交通を利用していない理由 [複数回答可]



その他※重複の内容は省く

- 家が近い。
- ・バスに乗る習慣がない。
- ・保護者が送迎出来るから。

5. 通学途中に危険を感じたこと、もしくは潜在的な危険箇所

『危険を感じたことがある、潜在的に危険な場所がある』と回答:11

表:通学中などに危険と感じた事象

居住地	危険と感じた事象
大正	山崩れの心配。夜間暗くなってから外灯がないので真っ暗と
	なる。
無回答	自転車で通学中(帰宅)街灯が少なく危ない。(大正~大奈路)
大正	大正から大奈路方面に帰るとき街灯が少なく自転車にライ
	トが点いていても暗い中、車のライトがまぶしくて前が見づ
	らくなるときがあるし、道が分からなくなるときがあった。
大正土場	夜の帰りに街灯の明かりがなくとても暗く危険である。(四
	万十高校から土場地区へ向かう方面)
無回答	町中の郵便局の所の点滅信号の時車の動きが分かりづらい。
大正大奈路	外灯がなく暗い。草が多い。
大正轟崎	街灯が無い道なので、心配になる。荒天時の後の落石、倒木
	も危ないし、冬は凍結になる。
大正	もりだば一帯が急斜面危険区域であることや教員住宅横の
	土手が地肌むき出しで崩れやすい。夜は外灯がなく墓地も近
	いため見えづらく特に女の子を持つ親は心配する。
江師	小石武内宅前のカーブ
大正轟崎	荒天時の後など落石や倒木など危ない。冬は凍結する。街灯
	もない道なので不安。
大正	雪の日など登り坂が凍結して危ない日があった。

6. 学校以外での外出について

(1) 行き先

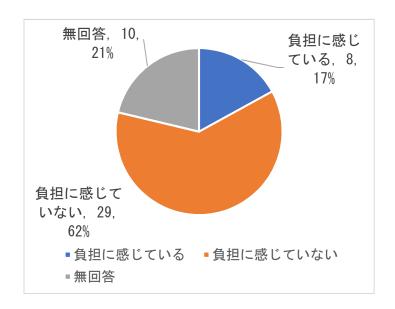
大正地区にある友人の家、高知市、田野々や窪川へ遊びに行く、大正地区 にあるスーパーマーケット、部活、じゆうく、友人宅(北ノ川、上宮地区)、 大正地域振興局(図書館)、窪川(バイト)、県外、他

(2) 移動手段

図:学校以外での移動手段[複数回答可]



7. 子どもの通学について負担に感じていること



【負担に感じている内容】※主なものを抽出

- ・雨が降るとよく汽車が止まり、学校までの送迎をしなくてはいけない。
- ・夜の汽車が無い。
- 毎日の送迎。
- ・雨の日の迎え、夕方遅くなってからの迎え。
- ・雨天時などに仕事の時間(出勤)が早かったりすると送っていけない。
- ・部活動と送迎時間が同じ時(雨天時)、晴れなら自転車。
- ・朝は準備などで子供がいると忙しい。車のガソリンが年々高くなっている ので負担を感じる部分はある。その中で送迎はやはり時間に追われる。

【負担軽減につなげるアイデア】※主なものを抽出

- ・100円バスの様に低価格なバスを運行して欲しい。
- ・同額バスか本数が増えたらと。
- 鉄道があれば行けるが。
- スクールバスなどがあると助かる。
- ・学校からバスが出ると助かる。
- ・朝だけでもスクールバスなど利用出来れば助かる。
- ・距離と回数などで、車のガソリン代に補助が出るようになるとありがたい。
- ・学校からバスが出ると助かる。

8. 将来の四万十町における移動手段確保策に対するご意見、より良くするための提案など

- スクールバスがあったら助かる。
- ・登下校にバスの本数を増やして欲しい。
- スクールバスを出して欲しい。
- JRが雨や台風で止まった時の対処法を何か考えてほしい。
- ・自転車置き場を増やす。
- ・予土線がある事で助かっているが、利用者が減れば無くなるのではと思う。もしそうなることがあれば学校の時間に合うバスが利用できればと思う。
- ・汽車以外の交通手段が少ないので増やしてほしい。(窪川方面)
- •スクールバスがどの地区でもあればいい。コミュニティバスもあればいい。
- ・コンビニや商店が無く、窪川に行くにも、JRは本数が少なく利便性が悪いため、マイカーでの送迎が必須になる。マイクロバス程大きくなくても、ワゴン車(乗用タイプ)位のデマンドバス的な便があればと思う。それもJRや路線バスの時間帯をカバーするような形であればどうか。(特に夜間の時間帯、20 時とか 21 時前後) 習い事やじゆうくを利用している生徒らのため。学業+αをするのに何事も窪川が中心(人口が集中している所)であり、移動に結構時間が取られる。
- ・来年の進路でどうなるか決まる。
- ・バス停や駅から自宅までが遠い家庭はバイク通学を許可する。規定範囲内でなくてももう少し範囲を狭くしてもいい。
- ・予士線が残ってること、バスが学校の時間に合うようにする。